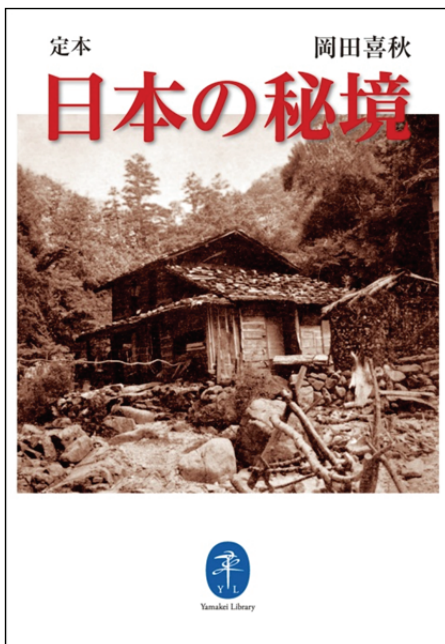


2014年1月28日
株式会社 山と溪谷社
<http://www.yamakei.co.jp/>

雑誌『旅』の名編集長だった岡田喜秋氏による紀行文の名作を、「秘境ブーム」の今、
ヤマケイ文庫『定本 日本の秘境』として復刊。

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：関本彰大）は、1月17日にヤマケイ文庫『定本 日本の秘境』を刊行いたしました。



日本が戦後の復興を遂げ、都市部では好景気に沸き立つ昭和三十年代前半、雑誌『旅』（日本交通公社・当時）の名編集長として知られた岡田喜秋氏（本年米寿、88歳を迎えられました。）が、日本各地の山・谷・湯・岬・海・湖などを歩いた旅の記憶をまとめた紀行文18編が収録されています。紀行文の名手が紡ぎ出す文章は、ときに鋭く、ときにやさしく旅の風景を描出していきます。高度経済成長の陰で失われていった日本の風景を描写した、昭和三十年代の旅の記録としても貴重なものです。

初刊行後、2度、文庫化や単行本化された不朽の名作が、半世紀以上を経たいま、著者の最終校訂を経て、「定本」としてヤマケイ文庫に収録されました。新たな「秘境ブーム」が起きているいま、半世紀前の「秘境」の現実と、現在の「秘境」の様相を比較してみるのも興味深いでしょう。

巻末の解説は、ドイツ文学者・エッセイストの池内紀氏に寄稿いただいております。

【もくじ】

- 山 山頂の湿原美と秘湯 赤湯から苗場山へ／九州山脈を横断する 五家荘から椎葉へ／乳頭山から裏岩手へ 秘話ある山越え
- 谷 神流川源流をゆく 西上州から奥信州へ／大杉谷峡谷をさぐる 秘瀑の宝庫／アスパラガスを生む羊蹄山麓 地場産業の創出
- 湯 中宮温泉の二夜 白山山麓の動物譚／酸ヶ湯の三十年 冬の秘話／夏油という湯治場へ 奥羽山中の秘湯
- 岬 陸の孤島・佐多岬 四国の最西端／日高路の果て・襟裳岬 開拓民の連帯感／四国の果て・足摺岬 憧憬者の心境
- 海 千島に見える入江 早春の野付岬へ／四国東海岸をゆく 橋湾から室戸岬へ／離島・隠岐の明日 新航路への期待
- 湖 氷河の遺跡・神秘的な小湖群 津軽・十二湖／木曾御岳のふもと 開田高原から三浦貯水地へ／長老湖と高冷地 南蔵王に生きる人々
- 解説「変動の一步手前」 池内紀

【著者プロフィール】

岡田喜秋おかだ・きしゅう

1926（大正15）年、東京生まれ。作家。旧制松本高校を経て、1947（昭和22）年、東北大学経済学部卒業。日本交通公社に入社し、1959（昭和34）年より12年間、雑誌『旅』編集長を務める。雑誌編集者時代から、日本各地を取材し、数多くの紀行文を発表。日本交通公社退職後は、横浜商科大学教授として、観光学の構築に努める。著書は、『秘話ある山河』（日本交通公社・平凡社）、『山村を歩く』（河出書房新社）、『芭蕉の旅路』（秀作社出版）ほか、50冊を超える。

【書籍概要】

書名：ヤマケイ文庫『定本 日本の秘境』

著者：岡田喜秋

仕様：文庫版（148mm×105mm）、並製

ページ数：384ページ

定価：本体価格950円＋税

ISBN：978-4-635-04766-1

発売日：2014年1月17日

【山と溪谷社】 <http://www.yamakei.co.jp/>

1930年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心に、国内外で山岳・自然科学・アウトドア等の分野で出版活動を展開。さらに、自然、環境、エコロジー、ライフスタイルの分野で多くの出版物を展開しています。

【インプレスグループ】 <http://impress.jp/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:関本彰大、証券コード:東証1部 9479)を
持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の
高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開しています。

以上

【本リリースについてのお問い合わせ先】

株式会社山と溪谷社 担当：勝峰

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-11 住友不動産九段北ビル 8階

TEL03-6744-1911 メール info@yamakei.co.jp